

<国際会議報告>

ワークショップ「革新的原子力システムに関するアジア・ネットワーク」  
(兼「第 5 回アジア ADS ワークショップ」) に出席して

東京工業大学 理工学研究科 原子核工学専攻  
博士後期課程 2 年 永田章人

2007 年 11 月 1, 2 日、ソウル国立大学にて行われた ANINS-ANADS2007 (「Asian Network on Innovative Nuclear Systems embedding 5th Workshop of Asian ADS Network」) に参加した。本会議は日本, 韓国, 中国の 3 カ国が毎年持ち回りで行われている会議であり、今年は韓国がホストを務めた。前日に韓国入りし、その日の夜はソウル国立大学の Prof. Joo 研究室の学生、卞先生、羽倉君、八木君と共に食事をし、その日は終わった。

私は 2 日目の午後に発表を行った。内容は自分の研究である CANDLE 燃焼制御方式を用いた高速炉に関する発表である (Pic.1)。発表後、参加者の方から数々の質問やコメントを頂くことができた。これらは今後の自分の活動に活かすことが出来るので、非常に有意義となった。



Pic.1 発表風景



Pic.2 HELIOS LOOP

他の方々の発表も非常に面白かった。個人的に一番気になったのが、高温ガス炉の DEEP-BURN についての発表である。名前は知っていたが、どのような物までかはよく知らなかったもので、非常に楽しく聞いた。

最終日の NUTREC 見学ツアーで、ベンチマーク計算などで以前から話を聞いていた鉛ビスマス自然循環施設の HELIOS LOOP (Pic.2) を直に見ることが出来た。

それとこれは余談だが、最終日は飛行機の時間までの時間を利用して、ソウル市内を散策し、数々の名所を見ることができた。

今回の会議を通して、自分の専門分野以外の話も聴くことが出来て、非常に楽しい日々を過ごすことが出来た。また様々な人と会うことも出来、非常に有意義だった。今回得た経験を今後に活かせればと思う。最後に本会議の関係者の皆様、現地の学生、また特に今会議の話をくださった京都大学の卞先生に深く感謝いたします。